

# エンド ユーザ通知ページをカスタマイズするにはどうすればよいですか。

## 目次

### [質問](#)

## 質問

Cisco Web セキュリティ アプライアンス ( WSA ) のエンド ユーザ通知ページをどのようにカスタマイズできますか？

AsyncOS ビルド 5.5.1 以降では、エンド ユーザ通知 ( EUN ) またはブロック ページのカスタマイズが可能です。管理者は、カスタマイズしたそれぞれの EUN ページを FTP で `configuration -> eun` の下のディレクトリにアップロードできます。最初に `configuration > eun` の下のサブディレクトリにはすべての標準 EUN ページが各言語のディレクトリ (たとえば `configuration/eun/{言語}`) に入っています。管理者はカスタマイズした EUN ページを FTP 経由でアップロードし、標準 EUN ページをオーバーライドすることができます。

カスタマイズした EUN ページを初めてセットアップするには：

- カスタマイズしたすべての EUN ページを FTP 経由で各フォルダにアップロードします
- カスタム EUN ページを使用するよう WSA を設定するために、CLI から次のコマンドを使用します：`advancedproxyconfig > EUN > [Use Custom EUN pages]` を選択します
- CLI コマンド `commit` を使用して、変更を確定します

EUN ページをアップロードする手順：

たとえば WSA で英語の DNS エラー ページを変更するには、次の手順が必要です：

1. WSA の管理インターフェイスに FTP でアクセスします - `ftp admin@<WSA ホスト名または IP>`
2. 次のディレクトリを参照します。 `configuration > eun > en`
3. ERR\_DNS\_FAIL ページをダウンロードして編集するか、新しい ERR\_DNS\_FAIL ページを作成します。
4. 編集後の ERR\_DNS\_FAIL ページを `configuration > eun > en` フォルダにアップロードします。

アップロードした後、CLI インターフェイスにログインします。次に、`[Use Custom EUN pages]` オプションを使用します。このオプションがすでに有効になっている場合は、`[Refresh EUN pages]` コマンドを使用して、アップロード済みのカスタマイズした EUN ページを有効にします

。

### 既存の EUN ページを編集する手順：

既存のカスタム EUN ページを編集するには、次の手順を行います。

- 編集後の EUN ページを適切なディレクトリにアップロードします：`configuration > eun > en`
- EUN ページをリフレッシュするために次の CLI コマンドを使用します。  
`advancedproxyconfig > EUN > [Refresh EUN pages]`

EUN ページのリフレッシュが必要な理由は、プロキシの最初の起動時に最新の EUN ページがメモリにロードされるためです。プロキシの実行中に変更されたページは、更新後のページを使ってプロキシが再ロードされるまで有効になりません。